

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3月14日

事業所名 **Atelierみるく首里**

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	13					
	2	職員の配置数は適切である	12	1				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	13					
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	9	2		2		今後も保護者様からのアンケートや職員の自 己評価結果をスタッフ全員で共有し、業務改 善に努めてまいりたいと思います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	11			2		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	9	2		2	・HPで公表されている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	8	1	1	3		現在のところ、外部機関による評価は特に取 り入れておりません。今後検討していきたいと 思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	12			1	・合同研修会あり	全職員向けのオンライン研修の開催や、個人 でも外部研修に積極的に受講するなど、職員 の資質向上に努めています。
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	12	1				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	10	1	1	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	13					児童発達支援管理責任者を中心に、週1回 ミーティングにおいてスタッフで情報を共有 し、プログラムの立案や定期的なモニタリ ングを行なっております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	11	2				発達の順序性を重視しながら、お子様の成 長に合わせ、プログラムを展開しています。 また、1年のサイクルや季節を感じられる活 動も考慮しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	11			2		お子様の状態の応じ、長期休暇期間中に、 集中的に取り組めるプログラムなどを設定す ることもあります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	12			1		ご要望を尊重しつつ、お子様の状況に応じた 個別支援や集団支援、プログラムの内容な どを提案させていただいております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認している	9	4				個別レッスンが多いため、担当する講師と児 発管で情報共有、レッスンの方針などを話し 合います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	10	2				支援後においても、担当する専門講師と児発 管でレッスンの振り返りと今後の方針などを 検討しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	13					支援後には毎回記録を残し、スタッフ間での 情報共有や支援の検証・改善へ活かしてい ます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	12			1		児発管と担当職員が定期的にモニタリングを 行い、支援計画の見直しや更新を行ってい ます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	8	1		4		利用者のニーズに応じ、基本活動を複数組 み合わせて支援している場合と、そうで無い 場合があります。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふさ わしい者が参画している	11			2		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	9	1		3		要望に応じて保育所等訪問支援を活用し、 学校や他機関との連携を取り、双方に混乱 が無いよう環境調整等を行わせていただい ております。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	4	1	3	現在は受け入れていません	医療機関から勧められて当事業所を利用する方も増えており、主治医と連携しながら、支援内容を検討し、支援を行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2		3		要望に応じて保育所等訪問支援を活用し、学校や他機関との連携を取り、移行支援を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	2	1	3		まだそのようなことはしていませんが、今後必要となった場合に、ご本人の了承を得て情報共有していきたいと思っております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	2		2		今のところ特に連携はありませんが、研修等があれば、積極的に参加したいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	3		1	・てい〜だキッズとの交流クラスあり	当事業所の集団プログラムは、「てい〜だキッズミュージアム」とのインクルーシブなレッスンを実施しており、双方にとって成長の機会となるような場を目指しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	4		2		協議会の参加は行なっておりませんが、協議会関連の研修会には児発管が参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12			1		毎回のレッスンの様子を保護者様にお伝えしたり、お家や学校での様子を聞き取ったりして、常々情報共有することを心がけております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	3		2	・月の乖(父母の学習会)をオンラインで開催している	インクルージョンの集団クラスに参加している保護者向けには、オンラインでの学習会などを毎月実施しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	1		4		ご契約時に内容をご説明させて頂いております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			3		適宜、事業所内相談などの支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	1		3	・コロナ禍で出来ていない	コロナ禍においては、交流会や食事会などの開催を控えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12			1		苦情対応についての体制を取り決め、ご契約時にご説明しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	1		2	・会報はないがHPがある。 ・掲示板への張り紙やお便り等あり	会報はありませんが、特別プログラムのお知らせ、レッスンの様子や、お子様の制作した作品などをLINEやInstagramなどのSNSなどを活用してお知らせしています。
	35	個人情報に十分注意している	12			1		HPなどの掲載に関しても、アンケートを実施し、保護者への確認を取るようになっています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12			1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1	2	4	・コロナ禍で今は難しい	今年度までは、コロナの感染予防の観点から、地域との交流を控えておりました。今後は、少しずつ検討していきたいです。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	2		1	・マニュアルはあるが、周知に課題	エントランスに各種マニュアルをファイルにして設置しています。ご確認ください。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12			1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	1		1		毎年職員研修において虐待防止委員会を開催しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	12			1		毎年、職員研修において、虐待防止委員会を開催し、身体拘束等の必要な場合の確認などを行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	3		2	・聞き取りはしているが、基本的には飲食物はサービスしない	当事業所では基本的に食物の提供はありません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1	1	1		